

「令和5年度病害虫発生予報第9号」の発表について

○向こう1か月の主要な病害虫の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- ・ 野菜・花きでは、ハスモンヨトウの発生が、南関東、東海、近畿、中国、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 果樹や茶では、翌年の病害虫防除を効率的かつ効果的に実施するため、病害虫の越冬量を低下させ、翌春の発生を抑制することが重要です。せん定作業にあわせて、感染落葉や病部を除去し、すみやかに園内土中に埋設するか、園外に持ち出すなど、適切に処理してください。また、ハダニ類及びカイガラムシ類の害虫の発生が多かった園地では、樹の粗皮削りやマシン油の散布による防除を実施してください。茶のカンザワハダニが多発した園地では、秋整枝後の休眠前（秋冬期）又は休眠明け（早春期）に薬剤散布等の防除を実施してください。

この他、オオタバコガ等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので注意してください。

国の発生予察情報について

国は都道府県の協力の下、植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき、有害動植物の防除を適時で経済的なものにするため、気象、農作物の生育状況、有害動植物の発生調査の結果等を分析し、有害動植物の発生予察及び防除対策に係る情報（発生予察情報）を提供しています。

本予報は、都道府県が提供する発生予察情報を取りまとめた情報になりますので、地域における情報の詳細は、都道府県病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

国の病害虫発生予察情報及び都道府県病害虫防除所のリンク

参照URL: <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

気象

気象庁の向こう1か月の予報（11月9日付け）では、気温は北日本、東日本及び西日本でほぼ平年並み、沖縄・奄美で平年並か高いと予想されています。降水量は、北日本日本海側及び東日本日本海側で多い、北日本太平洋側、西日本日本海側及び沖縄・奄美でほぼ平年並、東日本太平洋側及び西日本太平洋側で平年並か少ないと予想されています。

気象庁ホームページ

参照URL: https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001_00.html（外部リンク）

野菜・花き

野菜・花きで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
いちご	アブラムシ類		近畿、南関東、中国、四国
	ハダニ類	近畿、南九州	関東、甲信、東海、四国
キャベツ	アブラムシ類		近畿、四国、北九州
きゅうり	アザミウマ類	南関東、四国	東海、北九州
	コナジラミ類	関東、近畿、四国	東海、九州
だいこん	アブラムシ類	南関東、東海	四国、中国
トマト	コナジラミ類	関東、東海、四国	甲信、南九州
	黄化葉巻病		甲信、東海、四国
	すすかび病	東海、四国	
ねぎ	ネギハモグリバエ	関東	北九州
アブラナ科共通	コナガ		東海、近畿、中国、四国
きく	アザミウマ類	南九州	北九州
	アブラムシ類	北九州	近畿、四国
	ハダニ類		近畿、中国、南九州
作物共通	オオタバコガ	関東、東海、四国	甲信、近畿、中国、北九州
	シロイチモジヨトウ	関東、東海、近畿、中国	四国
	ハスモンヨトウ	南関東、東海、近畿、中国、四国、九州	甲信
	ヨトウガ	南関東	近畿

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

作物共通

・ハスモンヨトウの発生が、南関東、東海、近畿、中国、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されており、兵庫県、三重県及び福岡県から注意報が発表されています。幼虫の成育が進むと薬剤の効果が低下するので、若齢幼虫期が防除適期になります。ほ場の観察をきめ細かく行い、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。

果樹・茶

果樹・茶で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
かんきつ	ハダニ類	南九州	近畿、四国

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

かんきつ

・ハダニ類の発生が、南九州の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、発生初期をとらえた防除が重要です。ほ場の観察をきめ細かく行い、適期の防除を実施してください。

なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。

果樹・茶共通

・果樹や茶では、翌年の病虫害防除を効率的かつ効果的に実施するため、病虫害の越冬量を低下させ、翌春の発生を抑制することが重要です。せん定作業に合わせて、感染落葉や病部を除去し、速やかに園内土中に埋設するか、園外に持ち出すなど、適切に処理してください。

また、ハダニ類及びカイガラムシ類の害虫の発生が多かった園地では、樹の粗皮削りやマシン油の散布による防除を実施してください。茶のカンザワハダニの発生が多かった園地では、秋整枝後の休眠前（秋冬期）又は休眠明け（早春期）に薬剤散布等の防除を実施してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

令和5年10月11日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

警報

発表はありません。

注)重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

注意報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
10月13日	神奈川県	野菜類、花き類	オオタバコガ
10月13日	兵庫県	野菜類、花き類、豆類	ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ
10月16日	三重県	野菜類（アブラナ科野菜、イチゴなど）、花き、ダイズ	ハスモンヨトウ
10月16日	三重県	ネギ、アブラナ科野菜	シロイチモジヨトウ
10月16日	三重県	野菜類（トマト、アブラナ科野菜、イチゴ、ネギなど）、花き	オオタバコガ
10月17日	徳島県	野菜類（特にブロッコリー、レタス）	オオタバコガ
10月30日	福岡県	野菜類	ハスモンヨトウ
10月30日	沖縄県	さとうきび	黒穂病
11月1日	徳島県	冬春トマト・ミニトマト及び冬春なす	コナジラミ類
11月2日	大分県	トマト、ミニトマト	トマトキバガ

注)警報を発表するほどではありませんが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

特殊報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
10月11日	岐阜県	- ※	トマトキバガ
10月12日	京都府	- ※	トマトキバガ
10月13日	三重県	- ※	トマトキバガ
10月13日	島根県	トマト	トマト黒点根腐病
10月16日	兵庫県	- ※	トマトキバガ
10月17日	佐賀県	かんしょ	サツマイモ乾腐病
10月18日	宮崎県	オクラ	フタテンミドリヒメヨコバイ
10月19日	福井県	- ※	トマトキバガ
10月19日	富山県	- ※	トマトキバガ
10月20日	千葉県	かんしょ	タテスジヒメジンガサハムシ
10月20日	徳島県	レタス	レタス疫病
10月23日	愛知県	- ※	トマトキバガ
10月24日	茨城県	- ※	トマトキバガ
10月27日	滋賀県	- ※	トマトキバガ
10月31日	大阪府	- ※	トマトキバガ

※：フェロモントラップへの誘殺

注) 各都道府県において、新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発生消長に特異な現象が認められた場合に発表します。

病害虫の生態等の生物学的情報や防除に関する情報の詳細については、各都道府県の病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

見慣れない病害虫被害が発生していた場合の対応

植物防疫法の改正により、新たに重要病害虫発生時の通報に関する規定が追加されました。我が国未発生又は我が国の一部のみが発生している重要病害虫が、万が一国内の未発生地域に侵入した場合、国内の農業生産に重大な損害を与えたり、農産物の輸出を阻害するおそれがあります。こういった重要病害虫の侵入に伴う国内の農業生産や輸出への影響を防止するためには、国内の未発生地域への重要病害虫の侵入を早期に発見し、速やかに的確な防除を実施することが重要です。

農作物に見慣れない病害虫被害が発生していた場合には、最寄りの植物防疫所又は都道府県の病害虫防除所等にお知らせください。

植物防疫所の連絡先

参照URL：<https://www.maff.go.jp/pps/j/introduction/domestic/dsinnyuu/221121.html>

都道府県の病害虫防除所の連絡先

参照URL：<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/boujoshu.html>

次期作におけるスクミリンゴガイ対策について

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の発生の多かったほ場では、翌春の発生を抑えるため、収穫後には秋期の石灰窒素の散布や冬期の耕うんによる殺貝を実施してください。また、冬期の水路の泥上げにより、越冬個体を寒風にさらすことで殺貝効果が期待されるので、地域における取組を検討してください。なお、耕うん機等の農機具に付着した泥とともに、スクミリンゴガイが他のほ場へ拡散する可能性があります。農機具の泥はよく落としてから移動させるよう心がけてください。農林水産省では、スクミリンゴガイの被害防止対策について、ホームページに掲載しています。詳しくは以下のURLをご覧ください。

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の被害防止対策について

参照URL:<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryoku2/sukumi/sukumi.html>

用語解説

（地域）

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北東北：青森県、岩手県、秋田県

南東北：宮城県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

甲信：山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県

南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県

沖縄：沖縄県

（発生量（程度））

多い（高い）：やや多いの外側10%の度数の入る幅

やや多い（やや高い）：平年並の外側20%の度数の入る幅

平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅

やや少ない（やや低い）：平年並の外側20%の度数の入る幅

少ない（低い）：やや少ないの外側10%の度数の入る幅

（平年値は過去10年間の平均）

(参考) 今後の発表予定日
第10号：令和6年3月13日（水曜日）

(参考) これまでの発表
第1号：4月12日（水曜日）
第2号：5月17日（水曜日）
第3号：6月14日（水曜日）
第4号：7月12日（水曜日）
第5号：7月26日（水曜日）
第6号：8月9日（水曜日）
第7号：9月13日（水曜日）
第8号：10月11日（水曜日）

【お問合せ先】

消費・安全局植物防疫課

担当者：岡田、城野、吉田、河合

代表：03-3502-8111（内線4562）

ダイヤルイン：03-3502-3382